（別紙４）

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表

事業所名	てらぴぁぽけっと淵野辺駅前教室

公表日　2025年　2月　15日

利用児童数　2025年　1月　31日　回収数37　100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	36			1	物理的に限りあるスペースで工夫されていると思います。	継続してまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	36			1	配置数は十分だと思います。専門性に関して資格所有者がもっと増えるといいなと思います。難しいと思いますが。 新人男性スタッフがいた頃はスキル的に少し不安を感じる部分があり、その先生の授業ばかり続くと不公平感もあるように親としては思っていました。子どもは違和感なく楽しんでいました。	現在は保育士、児童指導員、公認心理士、心理担当職員のどれかとABAセラピーの資格をもった職員がいます。 3回続けては同じセラピストにならないようにしています。同じ時間帯の利用者様との兼ね合いで2回は続いてしまうことはございます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	35			2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	37				教室内はいつも清潔でいい環境だと思います。	日々の掃除に加え、月1回床を手拭きし、エアコン掃除など大掃除を行っています。またそれ以外に週1回よく使う所を念入りに掃除を行っています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	36			1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	36			1		継続してまいります。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	37					継続してまいります。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	37					継続してまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	37					継続してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	23	1	4	9		交流などはございませんが、保護者のご希望により園と連携を取らせていただいております。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					継続してまいります。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	36	1				フィードバック時に児童発達支援計画を提示して本日の支援内容を説明させていただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	1	1	2	動画視聴での学びがある。またフィードバックの際に親の話を聞いていただけて心のケアもしていただけていると感じます。	継続してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	37				できていると思います。先生からも様子を聞いてくださるので話しやすいです。	継続してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	37				丁寧な対応で大変ありがたかったです。 10月に面談があるのでドキドキしています。 相談したことに対して都度適切なアドバイスをいただけました。	継続してまいります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	5	8	11	そのような活動があるのかよくわかりません。すいません。 父母会などがなかったためわかりません。	現在実施の予定はございません。必要に応じて検討させていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	36			1	申し入れなどは行わなかったためわかりません。	継続してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	2		1		継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	34	2		1	玄関に貼りだしてあるQRコードで子どもの様子が見られるのかと思ったら利用日の振替しか見れなかった。会報や子どもの様子は口頭では伝えられています。	ブログで教室の空き状況をお知らせしていますが、活動の状況も工夫してブログにあげていけるよう検討してまいります。またインスタを始めましたのでインスタも是非閲覧ください。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	35	1	1			個人情報の研修を行っています。また個人情報が記載されているものにつきましては鍵付きの書庫で管理しております。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	2	1	1		玄関にマニュアルを置かせていただいております。是非閲覧ください。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	28	1	1	7	先生たちの訓練はされていると思うのですが子ども達と一緒なのかは不明です。	年2回利用者様と療育中に避難訓練(地震・火災)を行っています。てらぽけだよりには保護者様の許可なく子ども達の写真を入れることはできないため次回からは子ども達と行った際は、子ども達と行ったことを一文記載させていただきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	35	1		1		
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	37					継続してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	36			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	7			とても楽しみにしています。 つまらないから行きたくないと渋々通っています。 毎週楽しく通ってくれています。 園で遊ぶのが好きなため、楽しみにして通っている様子ではないが、頑張って通う必要があることは理解しているため嫌がることはない。 生き渋りはしますが、レッスンを受けると楽しそうにしています。 先生方にできたところを褒めていただけるのが嬉しいようで張り切って通っています。	ご利用者様にとって楽しく安心して過ごせる空間であり続けられるように、日々職員し良いサービスを提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	1			大変満足しており感謝しております。 日々の成長にも嬉しく思います。 通う前とは別人のようにコミュニケーションや気持ちの切り替えが上手になりました。大変満足しております。	てらぴぁぽけっと淵野辺駅前教室を利用して良かったと思えていただけるようこれからも励んでいきます。

公表日 2025 年 1 月 31 日

事業所における自己評価結果

公表

事業所名	てらぴぁぽけっと淵野辺駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			継続して参ります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		日報や朝礼で子どもの状況を共有しています。配置基準は適切である。	継続して参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	毎日設備の安全を確認し壊れている所は無いか確認しています。トイレの段差は踏み台をおいており、モニターは点検しています。	トイレの段差がある。モニターが消えたり向きにより見ずらい時がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の掃除に加え月1回エアコン掃除や床を手拭き掃除をしている	継続して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	6		いつでも使用できるようになっている。	継続して参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎月目標を設定し振り返りも行っている。	継続して参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎年行っている。	継続して参ります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		終礼やセラピー会議を開き意見の把握をする機会を設けている。	継続して参ります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	セラピストとしての技能は本部試験で評価を受ける機会がある	第3者評価は行われていないが年1回保護者様にアンケートを取ってそれを業務にいかしている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		市の研修なども受講してる。	継続して参ります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	6		モニタリング面談とカンファレンスを経て児発管が作成し、保護者への説明の上、承諾を受けて発行している。	継続して参ります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		アセスメントを必ず取って分析している。	継続して参ります。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		カンファレンスを行い全職員で検討した内容を支援計画に取り入れている。	継続して参ります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画を別途ファイリングし、支援の意際にはいつでも確認できるようにしている。	継続して参ります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		本部のデーターシートを使用し保管している。	継続して参ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		具体的に分かりやすく設定を行っている。	継続して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		リズムウォークや始めの会や終わりの会などは意見を出し合って行っている。	継続して参ります。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		楽しんでプログラムが行えるよう個々にあった方法や環境を変えて工夫している。	継続して参ります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別支援計画と専門的支援計画を作成し、それぞれの計画に沿った支援を行っている。 年長児には就学に向けた本格的な集団活動の場を設けている。	継続して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		朝礼にて一日の流れや担当を確認している。 必要に応じて個別での確認を行っている。 前日や日々の支援に関連した申し送りをおこなっている。	継続して参ります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		終礼にて振り返りを共有している。	継続して参ります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日報に記載にデータは忘れずに記載している。	継続して参ります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行ない、適切に見直しをして起算日前に作成している。	継続して参ります。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		園訪問には担当や児発管も足を運んび情報共有を行っている。	継続して参ります。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		協力医療機関がある。 幼稚園・保育園に訪問し、連携している。(関係機関連携)	継続して参ります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		園連携を行っている。必要な時は園と電話でも情報を取り合っている。	継続して参ります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	小学校へのマップの作成の相談を受け、得意なこと不得意なこと(どうしたらできるか)をまとめさせていただきお渡しさせていただいている。	継続して参ります。
	28	（28～30は、センターのみ回答）				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答）				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。	3	3		必要に応じて検討していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		個別支援の観点から、機会を増やす必要はないと考えられている。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		教室での様子を伝えるだけではなく、家庭での様子を伺い、共有している。 ノートを介した共有、送迎時の口頭での共有を毎回実施している。	継続して参ります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		本部の保護者むけ動画を提示し家庭での取り組み方を伝えたりしている。	継続して参ります。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時にお話しさせて頂いている。	継続して参ります。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	6		モニタリング面談や提示の時に確認させて頂いている。	継続して参ります。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6		提示の時に同意を得ている。	継続して参ります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		定期的な面談の他必要に応じて行っている。 希望を頂いている際はできるだけ早く実施している。	継続して参ります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		現在行っていない。また希望もないため必要に応じて検討していく。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談や申し出があった際は迅速に対応している。	継続して参ります。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ブログを上げたり、てらぽけだよりを毎月発行している。	継続して参ります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の研修を行い取り扱いに留意している。 個人情報のものは鍵付き	継続して参ります。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		フィードバック時にお話を聞きこうしたらいいかもしれないと助言をし家で実際に行ってもらい次の利用日にお聞きしている。	継続して参ります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		現在おこなっていない。必要に応じて検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		年2回利用者様と避難訓練を実施している 感染症対策ノ研修を定期的に実施している	保護者への実施報告が行き届いていない。写真など個人情報があるので行った際は、てらぽけだよりで、利用者様と行ったことを文章で記載するように変更する。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCP策定の上、基づいた研修を行っている。	継続して参ります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		モニタリング面談時に毎回ヒアリングしている。	継続して参ります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	モニタリング面談に毎回ヒアリングしている。 食品を提供する機会はほぼない。	継続して参ります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		定期的にヒヤリハット例を確認し、再発防止に備えている。 安全計画を策定し、計画沿って研修等を実施している。	継続して参ります。

	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		避難訓練や研修の様子はてらぽけだよりでお知らせや口頭でお伝えしている。自然災害の際は117を使うことを契約時にもお伝えしご案内もしている。	継続して参ります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		毎日の終礼でヒヤリハットの有無を確認し、ファイルまとめている。	継続して参ります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		委員会を設置し、研修を行っている。	継続して参ります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		契約時に説明をしている 補助で支えが強かった時や、高いところに乗ってしまった際に降ろした時も保護者にお伝えしている。	継続して参ります。

（別紙３）

事業所における自己評価総括表

公表			
○事業所名	てらぴぁぽけっと淵野辺駅前教室		
○保護者評価実施期間	2025年 10 月 1 日 ～ 20245 年 11月 30 日		
○保護者評価有効回答数	（対象者数） 37	（回答者数）	37
○従業者評価実施期間	2025年10 月 1 日 ～ 2025 年 10 月 30 日		
○従業者評価有効回答数	（対象者数） 6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年10 月 1 日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育と小集団を毎月とりいれている	小集団のときもクール全員の個別支援計画に合わせプログラムを作り、楽しく他児と関われるよう工夫している。 年長児童は就学を想定した環境を設置している。 個別も小集団もABAに基づく支援を一貫している	活動にマンネリ化しないように意見交換を活発化する。 個々の児童の情報共有を徹底する
2	地域支援に力を入れている。 幼稚園・保育園・こども園・放課後デイサービスなど関係機関との連携に努めている。	園と信頼関係を作って、情報共有し支援にいかしている。 園での様子を保護者からヒアリングし、園訪問を提案している。 園訪問記録は詳細に記すよう心がけている。 小学校に提出するマップの作成の相談にのり、記入しやすいように利用者の得意なこと不得意な事(どうしたらできるか等)を記載した用紙を渡している。	新しい園に行ったり、他事業所に行ったり病院とも連携を取っていくことで包括的にお子さんの支援をしていきたい 知り得た情報を活かし般化に繋げる 未実施の児童のに園訪問の取り組みを案内する。 安定した人員の配置と園訪問に皆が行けるように育成する。
3	家族支援を積極的に行っている	家庭での悩みや、お困りごと等を聞き相談にのっている。面談希望の方には迅速に対応している。 子育てサポートを行ってる	相談支援の概要を周知し定期的な実施を促す 全員が子育てサポートが行えるよう相談支援スキル向上を目指す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士が交流する場がない	交流を望まない保護者もいる。 個別支援で母子分離のため機会を作りにくい 人員や時間的余裕がない	交流を希望される方は自らとっているので様子をみる。また交流希望の方が増えてきたら検討していく。
2	仕組み上の弱み 就学後の継続的な支援ができない	事業所の特色を活かした支援に注力している	今だけではなく先を見据えてた支援を行い、保護者に安心してもらう 近隣の放課後デイサービスがどんなところがあるか知っておく。また送迎ルート等もふまえておく
3			